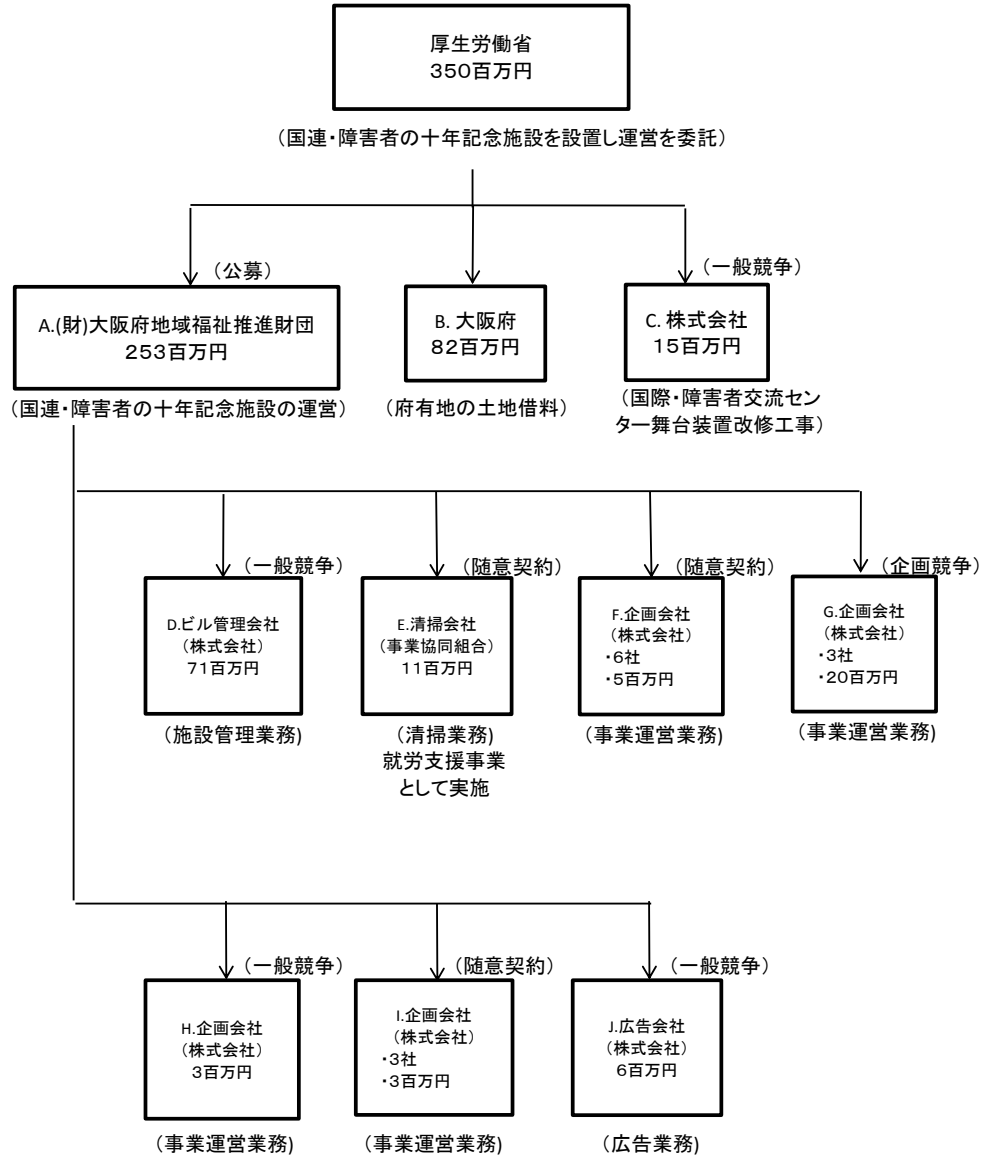


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国連・障害者の十年記念施設運営等		担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	企画課 自立支援振興室	君島淳二		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	平成13年6月27日障発第268号障害保健福祉部長通知「国際障害者交流センターの運営について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国が設置する国連・障害者の十年記念施設を円滑、適正に運営し、本施設の有する障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施することによって、障害者の社会参加を促進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ビッグ・アイ共働機構に対して、国連・障害者の十年記念施設の運営及び障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業(①災害支援ボランティアリーダー養成研修事業、②障害関係福祉情報提供事業、③障害者芸術・文化活動支援事業、④国際交流事業)を実施するのに必要な委託費の交付及び大阪府に対する土地借料の支払い。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	418	354	323	331	319
		補正予算					
		繰越し等					
		計	418	354	323	331	319
		執行額	377	350	323		
	執行率(%)	90%	99%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	障害者の皆さんが自ら行う国際交流活動や、芸術・文化活動の場、また、障害者だけでなく広く国民の皆さんが参加する交流の場として整備され、活動を通じて障害者の皆さんの社会参加を促進することを目的としているため、定量的な成果指標を示すことはできない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	災害支援ボランティアリーダー養成研修事業の修了者数		人	31	34	126	—
	バリアフリープラザ利用者数 (交流を深めるコミュニケーションスペースの利用者数)		人	8,218	7,382	2,816	—
	障害者芸術・文化活動の参加者 (障害者コンサートやバリアフリー映画の開催)		人	5,990	3,891	3,122	—
	国内外の障害者の交流		人	2,563	288	1,042	—
単当たりコスト	当施設は、障害者の社会参加を促進することを目的としている。活動指標はあくまで代表例であり、その他にもメールマガジンの配信(全国の芸術文化活動)、インターネット美術館の運営等様々な事業を実施しているため、単当たりコストは算出できない。		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国連・障害者の十年記念施設運営委託費	240	240	工事内容の精査による減			
	土地借料	74	74				
	各所修繕	16	5				
計	331	319					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国が設置する国連・障害者の十年記念施設を円滑、適正に運営し、本施設の有する障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を十分活用した諸事業を実施することにより、障害者の社会参加を促進する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国連・障害者の十年記念施設は、障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、障害者の芸術・文化発信機能等を有する施設である。そのため、その施設の円滑、適正な運営とその機能を十分に活用した事業の実施は、国で実施するべきものであり、障害者の社会参加の促進に資するものである。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	障害者福祉に理解があり、本施設の運営に意欲がある法人その他の団体であること、その他公募要領に記載した資格要件を満たすことを条件とした公募を実施。提出された応募申請書類を基に、外部有識者による評価委員会が審査基準に基づき審査している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	委託先を変更し、施設運営の効率化を図っているところである。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	センターの宿泊室、多目的ホール、研修室及び駐車場を利用する場合は、既定の利用料金を支払うこととされており、利用に応じた負担を求めている。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	施設管理や各事業の実施に必要な範囲で、実績のある事業者等を委託先として選定し、支出している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	施設の管理に必要な経費及び各事業の実施に必要な経費のみが計上され、適切に事業が実施されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業に実績のある団体へ運営等を委託することより、障害者の社会参加の促進に寄与している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	「国連・障害者の十年」を記念する施設として、国際交流・国際協力機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能の4つの機能を発揮し、障害者の社会参加に貢献している。
点検結果	<p>国が設置した施設の維持費及び障害者の社会参加を促進するための各種事業を行うための委託費等であるが、年度ごとに事業目的に基づく事業計画を策定しており、活動実績もこれに沿ったものとなっている。</p> <p>運営の効率化、多目的ホールや宿泊施設等の利用率の向上が課題となっていたが、平成21年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、委託先の変更、施設運営の効率化を図ることとされた。</p> <p>平成22年度予算において、人件費0.2億円、維持管理費・事業費0.3億円を削減し、平成23年度においても維持管理費・事業費を0.2億円削減するとともに、新たな委託先を選定し、事業運営の効率化を図っているところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	平成21年11月の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、委託先の変更、事業の効率化等の見直しをすることとされ、平成22年度において必要な措置を講じており、本事業の必要性や執行の観点からも適切であることから、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0509	平成23年行政事業レビュー	0462

(22年度実績)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(財)大阪府地域福祉推進財団			E.清掃会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	ビル管理会社等、施設管理業務等	119	人件費	職員給料	8
需用費	光熱水費、建物維持費、消耗品費等	73	その他	物品費、業務管理費等	3
人件費	職員給料	20			
使用料及び賃借料	会場借料、情報機器リース等	16			
役務費	通信運搬費、雑役務費	8	計		11
賃金	相談員、事務補助	3	F.株式会社A		
その他	旅費、備品購入費等	14	費目	使途	金額 (百万円)
			その他	搬入・搬出料、資材費、作業料等	2
計		253			
B.大阪府					
費目	使途	金額 (百万円)	計		2
土地借料	府有地の借り上げ料	82			
			G.株式会社G		
			費目	使途	金額 (百万円)
			人件費	職員給料	1
			その他	広報経費、マニュアル製作、報告書作成、会議費等	8
計		82			
C.株式会社			計		9
費目	使途	金額 (百万円)	H.株式会社		
各所修繕	舞台機構設備ワイヤーロープ交換	15	費目	使途	金額 (百万円)
			その他	スタッフ人件費、音響・照明・舞台関係費等	2
			広報費	チラシ・ポスター制作費等	1
			計		3
			I.株式会社J		
計		15	費目	使途	金額 (百万円)
			その他	チラシ・企画作成費、発送費	1
D.ビル管理会社					
費目	使途	金額 (百万円)			
その他	設備管理、保守点検、事務用品、警備等	47	計		1
人件費	職員給料	24	J.株式会社		
			費目	使途	金額 (百万円)
			その他	ホームページ運用経費	6
計		71	計		6

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府地域福祉推進財団	国連・障害者の十年記念施設の運営	253		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	土地借料	82		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社	舞台機構設備ワイヤーロープ交換	15	1	99%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社	施設管理業務	71	2	93%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事業協同組合	清掃業務	11	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	イベント企画・運営業務	2	随意契約	
2	株式会社B	イベント企画・運営業務	0.9	随意契約	
3	株式会社C	イベント企画・運営業務	0.8	随意契約	
4	株式会社D	イベント企画・運営業務	0.7	随意契約	
5	株式会社E	イベント企画・運営業務	0.3	随意契約	
6	株式会社F	イベント企画・運営業務	0.3	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社G	イベント企画・運営業務	9	3	
2	株式会社H	イベント企画・運営業務	9	2	
3	株式会社I	イベント企画・運営業務	2	2	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社	イベント企画・運営業務	3	2	68%

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社J	イベント企画・運営業務	1	随意契約	
2	株式会社K	イベント企画・運営業務	1	随意契約	
3	株式会社L	イベント企画・運営業務	1	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社	ホームページ運用業務	6	3	85%